



できたよぼくらの農園 遊休農地で世代間交流

葛巻町農業委員会（鈴木努会長）は6月23日、町中心部の遊休農地に葛巻保育園の園児らと野菜の苗を植え、世代間交流と遊休農地の解消がさらに進みました。

畑作りには、「かがやくふるさとアトつぎ隊」と名付けられた葛巻保育園の4、5歳児、園児の祖父母、浦子内老人クラブ会員も参加。おじいちゃんおばあちゃんの指導のもと、ミニトマトや枝豆など7種類の野菜が一つ一つ丁寧に植えられました。

苗やスコップなど用具一式はコメリ葛巻店から提供されたもの。大久保知紀君（5歳）は「疲れたけど楽しかった、土はあったかかった」と、土の感触を楽しみました。終了後、隊員たちは「大きく育てね」と願いを込め牛乳で乾杯しました。

「大きくなあれ、おいしくなあれ」と願いを込め、ミニトマトの苗を植える園児たち



6月1日は「牛乳の日」 来庁者に町産牛乳提供

葛巻町産業振興協議会（会長・鈴木重男町長）は牛乳の日の6月1日、役場と道の駅くすまき高原で町産牛乳を無料で提供しました。

これは、2001年に国連食糧農業機関が6月1日を「牛乳の日」と定め、国内でも日本酪農乳業協会が昨年から制定し、牛乳の消費拡大に努めているものです。

役場を訪れた来庁者には、ミルクハウスくすまきの牛乳、道の駅では観光客らにタカナシ乳業の牛乳が提供されました。

道の駅に立ち寄った観光客は「甘くて、おいしい」「買って帰りたい」など思い掛けない牛乳のサービスに「ミルクのまち葛巻」を実感しました。

また、同日は葛巻高校へもタカナシ乳業から牛乳が届けられ、地元の新鮮牛乳をたっぷり味わいました。

役場のロビーで「ありがとう」と、牛乳を受け取る橋幸恵ちゃんとお母さんの秀子さん

炭の効果体感ください 「癒しの部屋」オープン

くすまき高原里山実行委員会（竹川高行委員長、会員16人）は6月20日、くすまきワイン敷地内のウッディ隣りに部屋中に木炭を使用した「癒しの部屋」を開所しました。

部屋は、床下や内壁に約500kgの木炭を敷き詰め、床板には町産材のカラマツを使用。参加者は「とても落ち着く感じ」と、ゆったりしたひとときを過ごしました。竹川委員長は「これからは水と炭が環境・食糧・健康に重要な存在。癒やしの効果があるとされる森林の中で、多くの人に炭の効果も体感してほしい」と呼び掛けました。同委員会は平成16年に発足し、森からの新ビジネスとして、間伐材の木炭化や木炭による水質浄化、さらには土壌活性など、炭を活用した実証実験に取り組んでいます。



「不思議大きく育てハウス」の中にオープンした癒しの部屋。円内は炭に囲まれた室内で談笑する参加者

交通事故に気をつけて 三日市で歩行者にPR

6月3日、三日市の買い物客でにぎわった町裏通りで、町交通安全協会、交通安全母の会、交通指導隊、防犯指導隊など関係者約20人が交通安全や防犯を呼び掛けました。

母の会の会員らは「道路の横断に気をつけてくださいね」と夜行反射材などを手渡しました。

この日は、野菜の苗などを買い求める人たちでこの時期一番の人出となり、用意した反射材等200組がたちまち空っぽに。和野省助町交通安全協会会長は、「子どもと高齢者を交通事故から守りましょう」とあいさつし、安心安全の町への誓いを再確認しました。また、6月1日の道路交通法改正もあり、岩手署管内での飲酒運転の摘発が相次いでいることを受け、「より安全運転に気をつけて」と葛巻駐在所では呼び掛けています。



三日市の買い物客に反射材等を配り、交通安全を呼び掛ける母の会会員ら

吉ヶ沢小と地域が連携 山火事防止看板を設置

吉ヶ沢小学校（佐々木計校長・児童6人）が、山火事防止を呼び掛ける看板を製作しました。

看板は児童らが文字を書き、色を塗って完成。地元の消防団第10分団の団員によって雨風に耐えられるよう加工され、上祐ノ木橋付近に設置されました。児童と団員が連携した看板製作は、改めて山火事防止の大切さ確認するとともに、地域住民への防火意識の高揚にも役立っています。



小屋瀬と吉ヶ沢小10人 社会科見学で町を知る

小屋瀬小学校と吉ヶ沢小学校の4年生10人は6月16日、社会科見学で消防署葛巻分署と町の水道施設を訪れました。

分署では消防車両などの説明や119番通報の仕方、葛巻クリーンセンターでは、家庭排水が浄化され川へ流水されるまでを見学。また、地元小屋瀬地区の水道施設では、沢の水が飲み水になる工程を学習しました。晝澤剛志君（小屋瀬小4年）は「ポンプ車が格好良かった。大きくなったら消防士になりたい」と目を輝かせました。



ラテン音楽で中高の輪 葛巻高校で芸術鑑賞会

葛巻高校の芸術鑑賞会は6月16日、同校体育館で町内3中学校を招いて開催されました。今年は、音楽鑑賞『民族音楽ラテン&フォルクローレペルーからやって来た「ルパイ」』。

はじめは、緊張した雰囲気の間奏も生のラテン音楽とダンスが始まると手拍子がわき起こり、最後の曲では高校生と中学生が手をつなぎ大きな輪に。山館大地さん（葛巻高3年）が「普段触れることのできない音楽やダンスをありがとう」と、興奮冷めやらぬまま鑑賞会に幕を下ろしました。



明るい街づくりを支援 東北電力が街路灯寄贈

東北電力（株）盛岡営業所（岡信慎一所长）と（株）ユアテック二戸営業所（千葉敏夫所长）は6月15日、町に街路灯7基と取り付け工事一式を寄贈しました。

これは、地域協調活動の一環として、安全・防犯に対する地域社会の明るい街づくりにと贈ったもの。鈴木重男町長は「40年もの長い間継続して寄贈いただき感謝です。町民の安全と安心のため大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

